



光が丘地区内の子どもに関する公共施設の多くが、建て替え等の対策を検討する時期を迎えている中で、閉校予定の青葉小学校を「どのような場所にしていきたいか」、地域の皆さんとともに考えることを目的に、全4回の市民対話ワークショップを開催しています。

1月15日(土)に第3回ワークショップを開催しました！

第3回ワークショップは「やりたいことなどをカタチにして、再編コンセプトを考えよう！」をテーマに行いました。

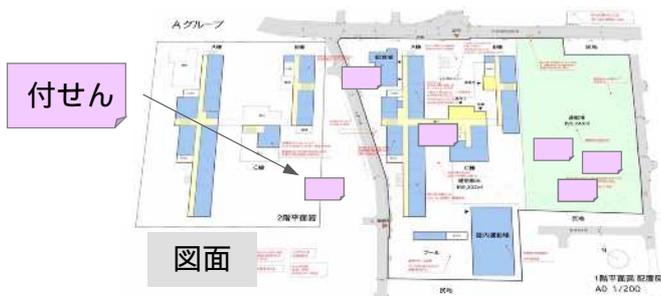
ワークの流れ

ワーク1：やりたいことなどをカタチにしてみよう！

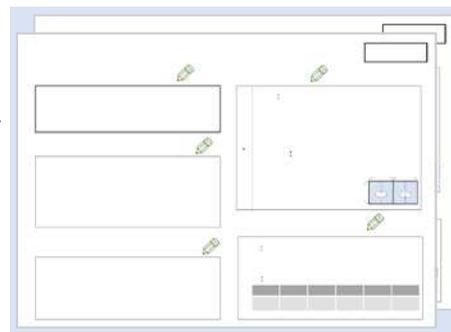
第2回を振り返り、追加したいこと(やってみたいことや守りたいこと)があれば、付せんに書き出して図面に貼る。



空間利用カードを使って、2人1組でやりたいことなどを具体的に考えた後、グループ内で共有する。



- 利用運営の仕方
 - 必要な機能
 - 使いたい空間
 - 使える時間
- など



ワーク2：再編コンセプトを考えよう！

ワーク1で考えた空間の使い方を踏まえ、図面を使ってゾーニングを考える。

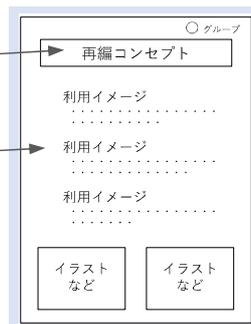


ゾーニングを参考に、模造紙に再編コンセプトや利用イメージなどをまとめる。



図面に直接書き込んでいただきました！

- 例・再編のテーマ
- 例・キャッチコピー
- 例・活動のイメージ
- 例・重要なポイント



最後に話し合った結果を発表していただきました！

讃岐先生

東京都立大学建築学科で助教を務める。専門は都市計画。多数の自治体で公共施設再編アドバイザーや市民ワークショップの講師を担っている。



グループで今日議論したことを実現するときにはどんな工夫や課題がありそうか、そこにどれくらい頻繁に足を運びたいか、自分ならどんな関わり方が出来るかなど、次回までに考えてみてもらえたら嬉しいです。その想像や検討が、次回のまとめにつながります。

次回予告

WS最終回

日時：3月21日(月) 14:00 ~
会場：光が丘公民館 大会議室

実現に向けて、施設の使い方などをイメージして再編案をまとめよう！

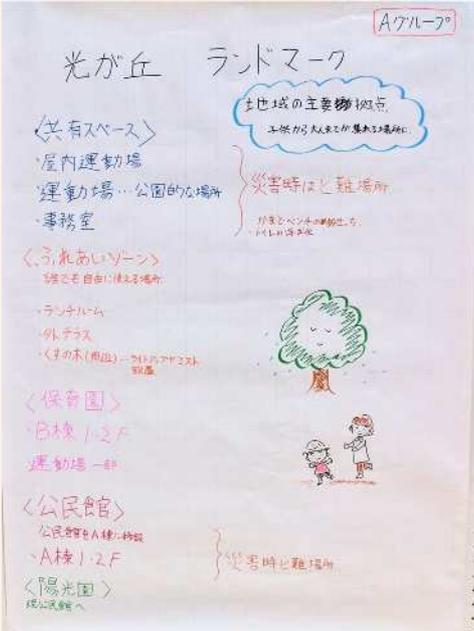
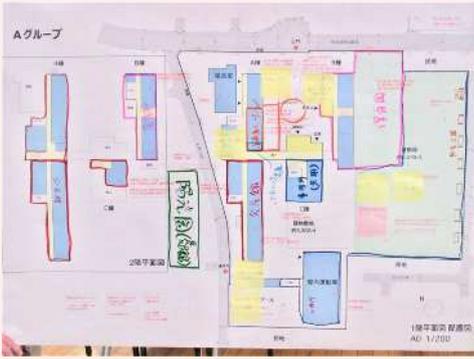
💡 施設名・コンセプト

光が丘ランドマーク



地域の主要拠点 子供から大人までが集まれる場所に

- ・ 地域の中心として公民館と一体化利用
- ・ ふれあいゾーン(誰でも自由に使える場所)
- ・ 共有スペース(災害時は避難場所に)



くすの木周辺を広場に
ランチルームやテラスで
食事をしたり、キッチン
カーを入れる

くすの木のライトアップ等
保育園園児の成長を感じな
がら、春夏秋冬に応じた飾
り付けやイベントを行う

体育館横や校舎内トイレ
災害時に簡易トイレとして
も使用出来るように洋式に
変更する

家庭科室
通常は料理教室やカフェの
調理場等に利用し、緊急時
は避難所の炊事場となる

防災倉庫の増設
移動可能なコンテナ倉庫を
用意し、防災用品の増量に
備える

校庭
防災面での利用に加え、公
園のようにみんなが集まれ
るフリースペースに！

校庭の具体案
緊急時に防災公園となるよ
うに、かまどベンチの設置
や地面の凹凸を解消する

校庭の具体案
桜を残してお花見をしたり
キャンプ場や運動場として
利用したい



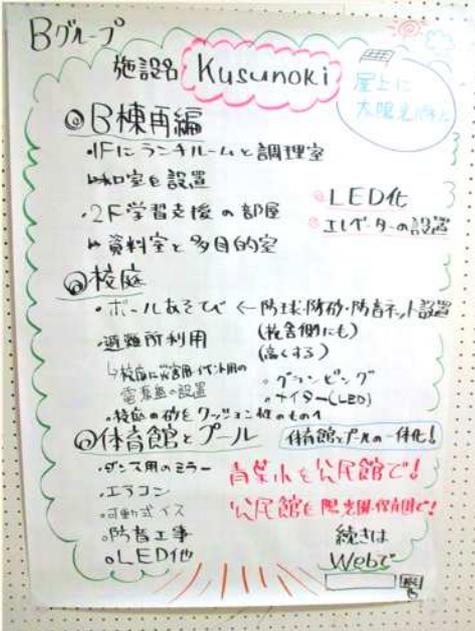
公民館と一体的に考えるのは、公共施設マネジメントの発想に沿った素晴らしい考えであり、それが市民の皆様から意見として出てくることはまさにこの地区の強みです。陽光園の「これから少しずつ地域に開いていきたい」という前向きな想いをどう拾っていくか、とか、公民館よりもコミュニティセンターという括りの方が活動に制約が生まれにくいかもしれない、など、個別具体的に課題が見えてきました。



💡 施設名・コンセプト

Kusunoki

- ・屋上に太陽光パネルの設置
- ・体育館とプールの一体化
- ・校庭の多目的利用



体育館で運動・コンサート
使用したい人のために貸し出し、可動するイスや防音ネットを設置して、コンサートやダンス等が出来るようにする。

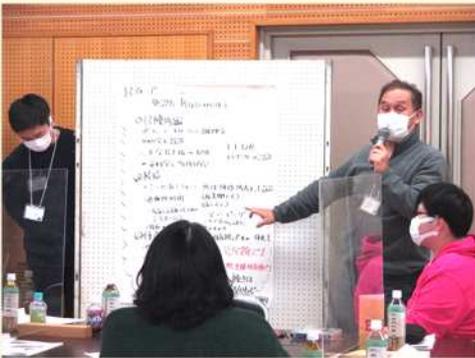
広い校庭の活用
防音工事をしてコンサート会場に
休日にはキッチンカー
住民専用のゴルフの打ち場

避難所利用
校庭にイベント用・災害時用電源盤を設置する
災害時にも利用できる
フリーWi-Fiを設置

プール
体育館とプールを一体化し
1Fをプールに、2Fを体育館に。プール撤去するなら地下に貯水槽を

誰でも利用できる
子ども食堂・学習支援・
地域活動・居場所
B棟1Fにランチルーム

公民館の土地を陽光園で
利用 小学校の土地を公民館、
地域への利用



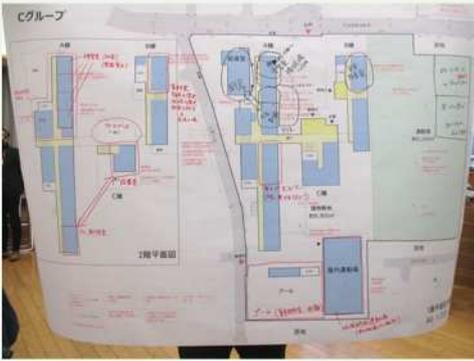
校庭、体育館、プールとか、室内よりも屋外の部分がたっぷり考えられているのが特色でした。体育館とプールを一体的にというアイデアは「財源を確保できるのか」という問題があります。とはいえ、例えば「屋外プールのままでは運営コストがかかりすぎる、いっそ屋内化したほうが良いのでは」という逆転の発想が垣間見える所に面白さがあり、その柔軟な発想には学ぶべきものがあります。



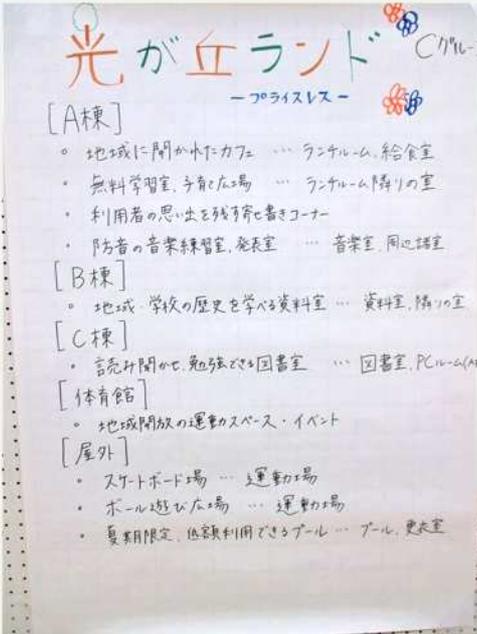
💡 施設名・コンセプト

光が丘ランド

— プライスレス —



- ・ 公民館とかぶらない機能
- ・ ボール遊び広場 ・ 完全防音室
- ・ 無料学習室、子育て広場/時間別利用



ボール遊びができる運動場
とスケートボード場
運動場に20m x 20mの
予約制の練習場を設置

子育て広場
午前中の人の少ない時間に
読み聞かせや交流ができる
ところ

無料学習室
学生の来られる夕方に
中学生～大学生が交わって
勉強できる場所

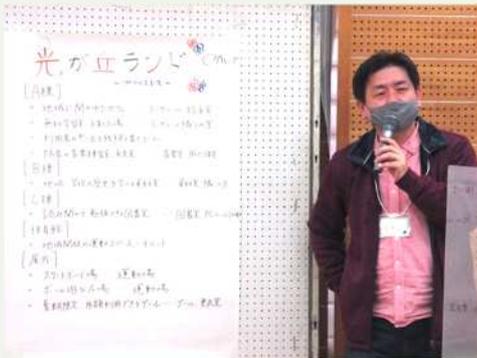
完全防音室
吹奏楽や和太鼓、民謡、
尺八、打楽器の練習が
自由にできる

給食室の厨房利用
交流の場や子ども食堂と
して自由に使える厨房が
欲しい

体育館
パーティションで分けて
雨の日に子どもたちが
遊べるスペース

資料室
学校の雰囲気を残して教室
に資料を展示、様々な世代
での交流に

寄せ書き
玄関、オープンスペース
など来た人みんなが見ら
れる壁に絵を描く



完全防音室やボール遊び広場など、特徴的なアイデアをくれました。Cグループは「ここにしかない、ここでしか出来ない事を実現したい」をテーマの中心に据えて話し合いされていましたが、そのテーマを実現するためのアイデアの1つだと理解できます。人々の様々な活動を地域で支える、という光が丘の地域特性を関連付けると、俄然説得力が増すと思いました。



舘岐先生

